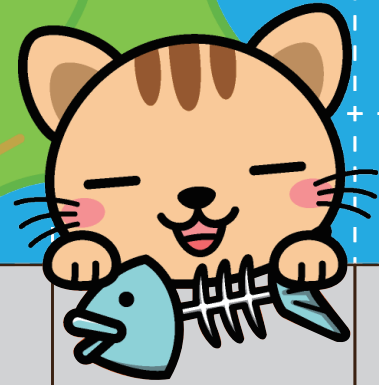
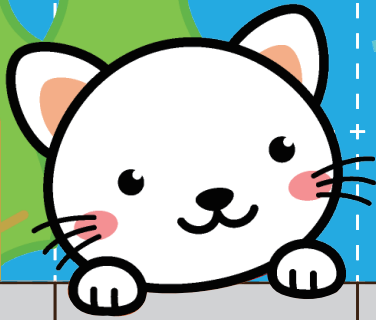


安心なブロック塀に。



あなたのブロック塀は大丈夫にゃの？

地震によるブロック塀の倒壊で犠牲になる方がいます。

倒壊の原因は

地震で倒壊した塀は、基準に適合しないものや、施工不良があるものと言われています。塀が倒壊すると、人に直接危害を加えるほか、避難経路をふさいでしまうおそれがあります。

過去の地震でのブロック塀等の倒壊による犠牲者

年	地震	死者数
昭和 53 年 (1978 年)	宮城県沖地震	18 名
平成 17 年 (2005 年)	福岡県西方沖地震	1 名
平成 28 年 (2016 年)	熊本地震	1 名
平成 30 年 (2018 年)	大阪府北部を震源とする地震	2 名

倒壊を防ぐには

1. 基準をまもる

ブロック塀には、建築基準法などの構造基準があります。

2. きちんと維持管理する

日ごろの安全点検が大切です。

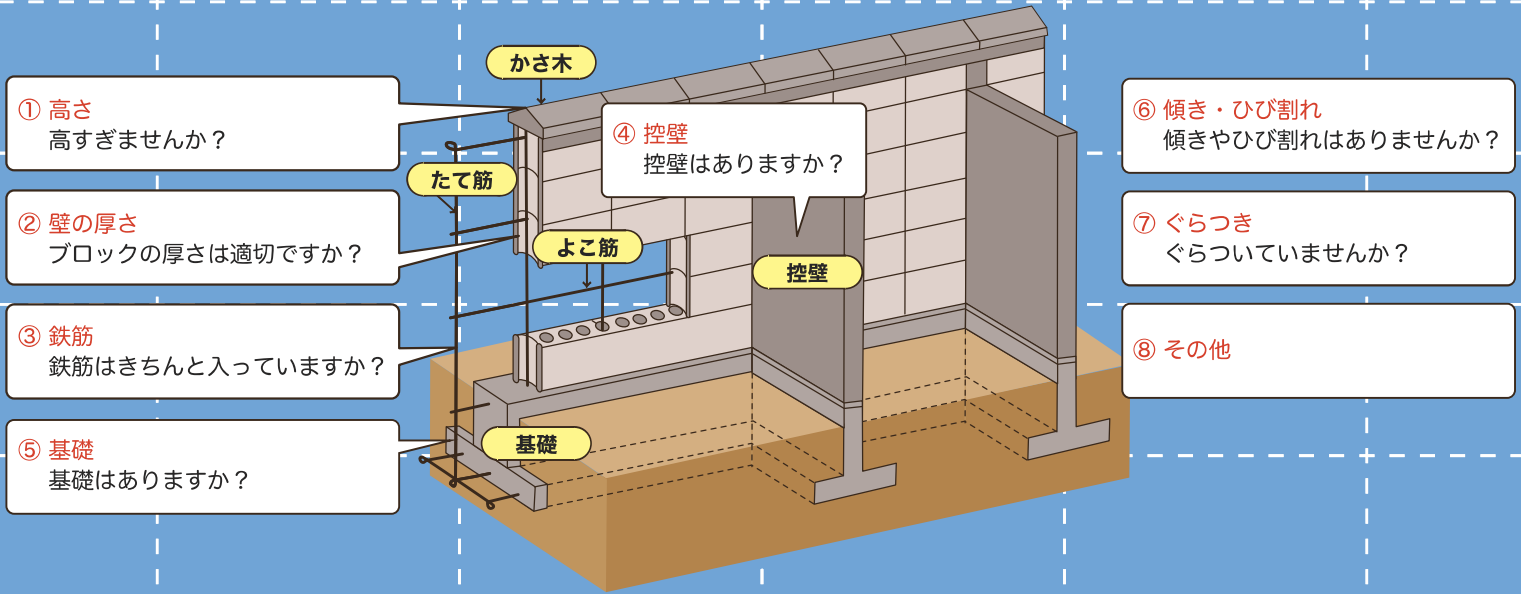
ご存知ですか？ 所有者の責任。

民法では、ブロック塀等の工作物の設置又は保存に瑕疵があることによって他人に損害を与えたときは、賠償責任を負うことが定められています。

ブロック塀の安全確保は所有者の責任です。
裏面の点検リストを参考に、しっかりと点検をしましょう。



ブロック塀の点検をしよう！



点検リスト [補強コンクリートブロック塀]

check 1つでもあてはまらないものがあれば、ブロック塀の安全対策が必要と考えられます。専門家にご相談ください。

①～⑤は建築基準法で定められた構造基準です。
(建築基準法施行令第62条の8)

⑥、⑦は経年劣化しますので、定期的に点検を。

① 高さが2.2mを超えない



② 壁の厚さが15cm以上である

※塀の高さが2m以下の場合、10cm以上である

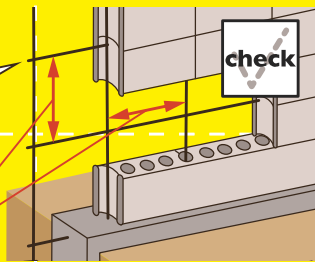


③ 鉄筋が入っている

直径9mm以上の鉄筋



縦・横とも80cm間隔以下

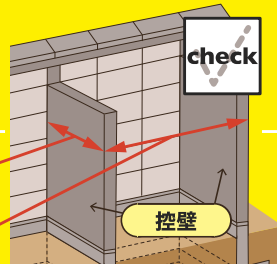


④ 控壁がある

※高さが1.2mを超える場合のみ

高さの1/5以上突出している
例：高さ2mの場合、40cm以上

間隔3.4m以下ごと

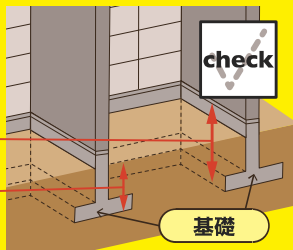


⑤ 鉄筋コンクリート造の基礎がある

基礎の高さ35cm以上*

根入れ深さ30cm以上*

※高さが1.2mを超える場合のみ



⑥ 傾きやひび割れがない



傾き

全体的に傾いていない



ひび割れ

幅1mm以上のひび割れがない

⑦ ぐらつきがない

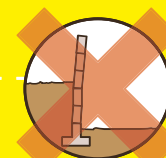
人の力でぐらつかない



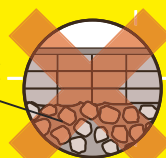
ぐらつき



⑧ その他



玉石積み擁壁



塀が土止め壁を兼ねていない 玉石積み擁壁等の上でない

点検リスト [組積造の塀]

石造、れんが造等、鉄筋が入っておらずかつ芋目地でないコンクリートブロック塀を含む



① 高さが1.2mを超えない	check
② 壁の各部分の厚さがその部分から壁頂までの垂直距離の1/10以上ある	check
③ 壁の長さ4m以下ごとに壁面からその部分の壁の厚さの1.5倍以上突出している、又は、壁の厚さが必要寸法の1.5倍以上ある	check
④ 基礎の根入れ深さが20cm以上ある	check
⑤ 補強コンクリートブロック塀の⑥～⑧	check